

新型コロナウイルス感染症に 関する市の対応について



答弁

これまで、様々な支援施策を実施してきたが、今後も状況を踏まえ、支援を検討していく

議員

「常総市公式LINE」の運用状況について伺う。

市長公室長

6月1日に開設をし、8月3日から国県が発表する情報や市の対応方針、支援事業等について情報発信を行っている。8月31日現在で、2196名が登録している。

議員

コロナ禍において、情報発信の大事なツールである。もっと多くの市民の皆様を知っていたら、登録していただけたら、啓発活動をお願いしたい。

議員

「いばらきアマビエちゃん」の市内事業所の登録状況について伺う。

産業振興部長

8月31日現在での登録数は、238件となっており、そのうち市役所をはじめとする公共施設の登録数は48件となっている。

新型コロナウイルス感染症に 関する市の対応について



答弁

登録数が少ない状況だが、増やすための対策を伺う。

議員

市のホームページ、SNS、広報への掲載や商工会、観光物産協会などの会員の皆様にはチラシ等を郵送し、推進している。

議員

県では「いばらきアマビエちゃん」を推進するために茨城県新型コロナウイルス感染症の発生予防又はまん延の防止と社会経済活動との両立を図るための条例の制定を10月上旬に予定しており、内容は事業者の登録義務付け、県民の利用登録義務付けなどである。そのほか、登録事業者への財政支援や利用登録者を対象とした県産品のプレゼントキャンペーンなどを実施予定と聞いている。

議員

コロナ禍で売上げが減り、大変な事業者が多い状況であり、早急な支援が必要と考える。いばらきアマビエちゃんの登録、感染防止に取り組む事業者への補助金などの支援を要望する。

運転免許証返納後の交通手段について



答弁

公共交通の在り方も含めて議論を定期的に行っている

多く、また運行形態の自由度が高く、地域のニーズに合わせた様々な運行形態がある。

議員

バスについて、今どのように考えているのか。

市長公室長

既存の公共交通である常総線路線バス、タクシー、ふれあい号の利用状況等を踏まえ、それらと連携する新たな移動手段の導入や利用促進の施策について、今後とも考えていきたい。

議員

きぬ医師会も含めて、近隣自治体と病院だけでもバスを出す検討は。

市民と共に考える課長

病院バスについても、この地域公共交通計画の分析結果を踏まえ、やはり需要度の高いところ、そして市内外の運行も併せて検討したい。

市長

つくばみらい市長、守谷市長、坂東市長と、広域連携の在り方公共交通の在り方も含めて議論を定期的に行っている。

柳井 真吾 議員

広瀬 光一 議員